

明けまして、おめでとうございます

令和の御代は「靈性に和す」の意味が秘められています。コロナで始まりコロナで暮れた昨年に引き続いて令和3年もその延長線上にあります。誰もが今年こそコロナが終息して、コロナの制約から解放され経済面でも活況ある世になって欲しいと願っているのですが、果たしてどのように推移してゆくのでしょうか？

令和3年、辛丑の歳の運勢を読む

令和3年の干支は辛丑（かのとうし）であり、「辛」には思い悩みながらゆっくり衰退して痛みを伴う幕引きの意味。「丑」には発芽直後の芽が固い殻を破って、はち切れるばかりの生命力が漲る意味があるそうです。

このことから本年は「体主靈従」の旧来の生き方がいよいよ幕引きになり、新しい時代の「靈主体従」の精神性に目覚めたパワーが湧き漲ってくる時を迎えたと言えるようです。過去三千年来、世界人類が歩んできた物・金・エゴ中心の生き方が清算され、人々が靈性に目覚め精神性を向上して、地球や宇宙、自然の法則と調和していく時代が開かれてゆくことを意味しているのではないのでしょうか。

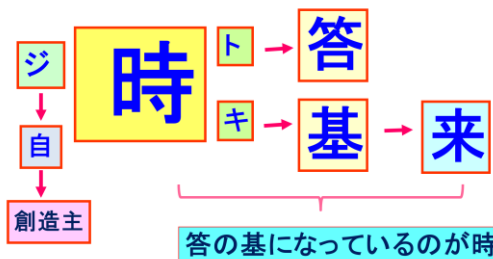
未曾有の危機と混迷に直面している世界の情勢

今日の世界の情勢を概観しますとコロナが地球規模で蔓延、それに伴って世界的な経済危機が迫っている。米大統領選の不正集計でアメリカが二分。米中間で世界の覇権をかけての争いが加速。世界の陰の支配者＝デープステートがコロナワクチンを使って人口の削減とコンピュータ管理によって人類の奴隷化を進めていること。地球環境の悪化や異常気象の頻発。核兵器の開発競争。

国内ではコロナの危機で経済が停滞。加えてチャイナが日本各地の土地を大規模に買い占め、おびただししい中国人や外国人が流入し、治安の悪化と国内秩序の崩壊が予想される。などなど内外ともども世界は未曾有の危機と大混迷に陥っています。



ワンポイント
字割



「時」とは創造主が運んで来る答えの基。
創造主自らが時そのもの。

救いの道を何処にも見出せない世界人類

にも拘らず、人類はこれらの解決の手立てを何一つ持ち合わせていないのです。宗教・哲学・科学、様々な主義・思想でこの混乱を正せることが出来るのでしょうか？人工知能とかビッグデータ、5G等のITの力で活路が開かれるのでしょうか？さらに大国の指導者がこの時代の危機を救う道を示されているのでしょうか？答えは全て否です。解決の道は杳として誰もが見出すことが出来ていないのです。世界人類に覆いかぶさりつつある危機を救う手立ては皆無と言っても過言ではないのです。

時の転換に気付かず靈性を無視して暴走する人類

なぜ救いの道を見出だすことが出来ないのでしょうか？それは、人類が「時の法則」に気付くことなく、未だに我善し、強い者勝ちの生き方に固執しているからです。

「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

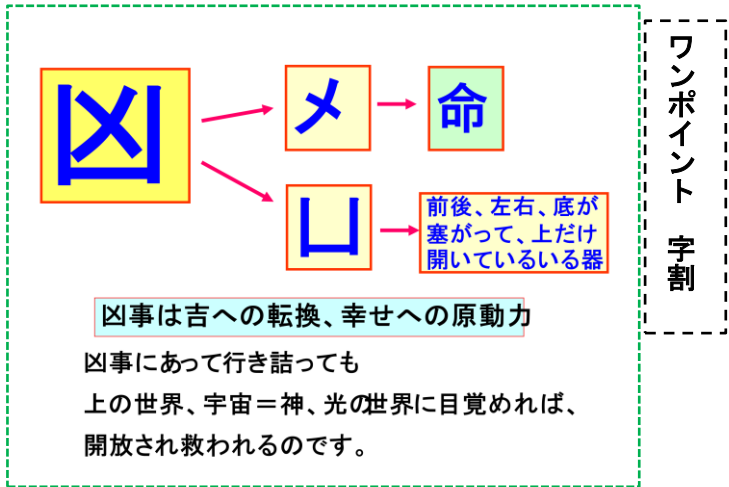
「時」→「トキ」→「答来」、時には答えがやって来る深意が秘められています。

現代人は人智を過信し物質科学を盲信して、目に見えない世界を否定した生き方をとっています。ですから豪華絢爛な物質文化に翻弄され目に見えない世界、精神性とか霊性とか神とか宇宙の意志とかを軽視したり無視して暴走しているのです。

八方ふさがりでも、天に気付けば救いの道が

この歪んだ生き方を明確に諭してくれ、今の時代を映しだしている文字があるので紹介いたしましょう。それは「凶」と言う字です。

「凶」の字は「凵」(かん)という器を意味する字の中に「メ=命」が組み込まれた字形です。その意味するところは「凶事に遭遇して前後左右が塞がっていても上は開いている。上とは宇宙。したがって宇宙・天に心を向ければ救いの道が開かれることを教えているのです。このことに気づけば「凶事」は「吉事」に転換できることが理解できるのです。



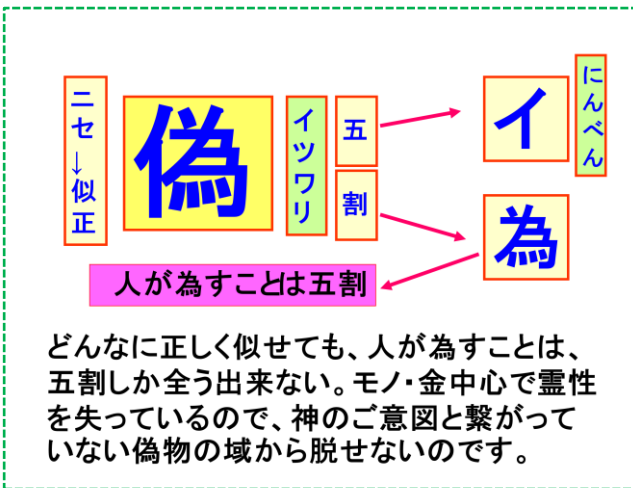
ワンポイント 字割

人智・人学・人為では五割の世界に終始する

「偽」の字は「イ=人」が「為」すと書きます。人間が為すことは「ニセ」であり「イツワリ=五割」であると教えているのです。「偽」の字は人の智慧や人が為して作りだしたものは「イツワリ=五割」に留まっていることを意味しているのです。では、残りの五割は何処にあるのでしょうか？それは霊主体従の生き方の中にあるのです。

現代人が信奉している宗教・哲学・科学、そしてこれらを根拠に生みだされた様々の主義・思想や主張、倫理・道徳、諸々の学問は、全て人間の知恵によって構築されたもの、すなわち「偽=五割」なのです。

ワンポイント 字割



そこには霊性・神性・宇宙のご意図という見えない世界の掟(おきて)が反映されていないのです。そこに現代人が今日あらゆる面で迷い行き詰まり、危機に直面していても解決の道を持ち合わせない最大の原因が潜んでいるのです。

宇宙の大いなるご意図が発動して、救いの道が…

ところが嬉しいことに、最大の危機に直面した世界人類に宇宙の大いなるご意図によって救いの道が開かれつつあるのです。毎月本誌を読まれる皆様に「三六九神示」をお届けしていますが、その中に「我善しの物・金・

エゴの生き方で歩いていったら、弱肉強食の生き方が昂じて、大国間の覇権争い、原水爆、地球環境の悪化等によって人類は滅亡する。神界ではそうであってはならない、それを食い止める先駆けとしてコロナウイルスの現象が起こっている。したがってコロナの終息には人々の意識、考え方を改め、自然との調和、宇宙の法則に目覚めれば、すぐにも収まるのである・・・」(要旨)の言葉が降ろされているのです。

神界から「荒事なければ新事なし」のメッセージが

また「荒事無ければ新事なし」の啓示も降ろされています。世界的規模で湧き起こっている大動揺と危機は、新しい時代に切り替えるための現象でもあるのです。このピンチを霊主体従の生き方に切り替える

「光の言葉で原点回帰 全ての人が救われる道」 宿谷直晃著 でくのぼう出版から発行

電話 0467-25-7707、お取り寄せください。ネットでの購読も出来ます。

定価 1400円 + 消費税